



＜本校の授業改善に向けた視点＞

<p>指導内容・指導方法の工夫</p> <p>○分かる授業、学びが楽しい授業の実践。 ○授業時数の確実な確保、指導計画、評価規準、週案に沿った計画的な授業。 ○算数の習熟度別指導をはじめ、個に応じた指導の充実。 ○地域教材、ボランティアの積極的な活用。 ○特別支援教育の視点にたった学習環境の整備。</p>	<p>教育課程編成上の工夫</p> <p>○授業時数の大幅な確保によるゆとりある編成。 ○十二小タイムや朝学タイムを活用した算数科をはじめとする基礎・基本の徹底。 ○読書マラソンによる読書の習慣化。 ○幼稚園、玉川上等地域の教材化を図り、生きる力を培う。</p>	<p>校内における研究や研修の工夫</p> <p>○自己申告、職務面接、授業参観による授業改善の推進。 ○全学年が研究授業を行い、指導の改善に努める。 ○初任者研修、2・3・4年次研修、小平市教科等研究会への積極的な参加。 ○研修報告会を実施し、全教員が報告し合い、情報を共有する。</p>	<p>評価活動の工夫</p> <p>○PDCAサイクルによる指導と評価の一体化の考えのもと、指導のねらいの達成と学習内容の定着強化。 ○年間指導計画に基づいた評価規準の作成。 ○保護者・地域の声を取り入れた学校評価の実施。 ○評価委員会を中心とした学校の評価規準に関する共通理解。</p>	<p>家庭や地域社会との連携の工夫</p> <p>○学校公開日を中心に活動を積極的に公開し、児童の成長や教師の指導を発信し、家庭地域の協力・連携を強化。 ○地域人材の学習への参加、サポート活動。 ○年度初めの保護者会で学校説明会を実施。 ○学校経営協力者の参加。 ○十二小家庭学習強化週間の推進。</p>
--	--	--	---	---

小平市立小平第十二小学校 授業改善推進プラン

【第1学年】

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	発展的・補足的な指導計画
国語	<p>○読み物教材で、内容を正しく理解させるための指導。</p> <p>○自分の思ったことを語尾までしっかりと話す、話し方を身に付けさせるための指導。</p> <p>○ひらがなや促音、拗音、長音、濁音、半濁音などの書き方を身に付けさせるための指導及び個別の支援。</p> <p>○経験したことなどを思い出し、簡単な文章を書かせるための指導及び個別の支援。</p>	<p>○音読を毎時間取り入れることで、目・耳・口の感覚を使って、内容を理解するための素地を作る。そして、段落ごとに大事な言葉を手掛かりにしなが、挿絵なども活用し、読みを深めていく。また、理解しやすい話し方を工夫する。</p> <p>○様々な形態で話す場面を多く設定し、話すことに自信をもたせる。また、話し方を継続的に指導する。</p> <p>○読んだり書いたりする機会を多く設定する。特に、ノートやワークシートなど、書く活動を授業の中で取り入れ、練習を積み重ねる。身に付いていない書き方に関しては、ワークシート等を用い、丁寧に指導する。</p> <p>○視写や、穴埋め形式等で文を書く練習を通し、基本的な文型を身に付けさせる。</p>	<p>○読書の時間を活用し、様々な文章に触れさせる機会を増やすとともに、読み聞かせも積極的に取り入れ、読書量を増やすことで自ら読み取る力を向上させる。</p> <p>○話す時の手助けになる話形を示し、継続的に練習を積み重ねていく。</p> <p>○字形、書き順を意識させた視写の機会を多く取り入れる。</p> <p>○短作文や日記等に取り組み、気持ちや様子を表す練習を積み重ねていく。</p>
算数	<p>○数の分解・合成を理解させるための指導及び個別の支援。</p> <p>○加法や減法の意味を理解させるための指導及び個別の支援。</p> <p>○計算の技能を生かして文章題を解くための指導及び個別の支援。</p> <p>○児童の興味・関心を高める指導。</p>	<p>○ブロック操作等、具体物と対応させながら、数の概念が定着していくようにしていく。また、TAと連携し、個別指導の時間を確保していく。</p> <p>○問題文中の「分かっていること」「問われていること」を確認する。また、数多くの問題を解くことにより、立式のパターンを覚えさせる。</p> <p>○自分の言葉で問題を作り児童同士で解く活動を取り入れることで、文章題の意味の理解を定着させる。</p>	<p>○具体物の操作では、手を動かすだけでなく、丸などを描いて表したり、相手に伝わるように自分の言葉で話したりしながら操作できるよう繰り返し指導する。</p> <p>○家庭学習を促しながら、計算練習の時間を多くとるようにする。</p> <p>○十二小タイムでは、基礎的な問題を繰り返し行うとともに、発展的な問題も取り入れることで、知識・理解を深める。</p>
生活	<p>○身の回りの動植物に対して興味・関心を高めるための指導及び個別の支援。</p> <p>○観察カードの絵や文章のかき方を身に付けさせるための指導及び個別の支援。</p> <p>○「もっと知りたい。」「もっと観察したい。」という意欲を喚起する指導。</p> <p>○拍の流れを感じながら、リズム打ちができるようにするための指導。</p>	<p>○校庭や地域の自然に触れさせ、周りの様子に気付くような声掛けをし、興味を広げていく。また、季節の変化にも目を向かせる。</p> <p>○見たこと、感じたことを絵や言葉で表現する活動を多く取り入れる。</p> <p>○観察カードを互いに紹介することで、「自分もやってみよう。」という意欲を高める。</p> <p>○足や手など、体をたたいたり楽器を用いたりしてリズム打ちをし、楽しくリズムの感覚を体感させるようにする。</p> <p>○個別指導のほか、児童同士の教え合いを作り出し、一人一人が鍵盤ハーモニカの鍵盤の位置</p>	<p>○定期的に観察することで、成長の様子を実感させるため、年間を通して自然に多く触れさせる。</p> <p>○観察カードは教室に掲示し、友達の作品がいつでも見られるようにしておく。</p> <p>○簡単なリズム打ちや階名唱ができるように繰り返し指導する。</p> <p>○リズム楽器を使った音楽遊びを継続的に設定し、リズム感覚を身に付けさせる。</p>
音楽	<p>○鍵盤ハーモニカを譜面どおりに演奏できるようにするための指導及び個別の支援。</p>	<p>○鍵盤ハーモニカの鍵盤の位置</p>	<p>○鍵盤ハーモニカの鍵盤の位置</p>

		を正しく覚え、譜面どおりに演奏できるようにする。	
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○課題やめあてを十分に理解させるための指導及び個別の支援。 ○さらに意欲的に取り組ませるための指導。 ○切る・折る・貼る・描くなど、技能面の指導及び個別の支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童のイメージが広がるようにアイデアを紹介し合ったり作例を提示したりする。 ○言語によるコミュニケーションを通して、形や色の感じ、そこから生まれるイメージをより明確にもち、豊かにできるようにする。 ○実演することで、視覚的にとらえさせるとともに基礎的な知識や技能が身に付けられるように、繰り返し指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作品を掲示することにより、鑑賞の場を設け、次の題材の意欲につなげていく。 ○授業以外の時間も活用し、個別の指導を行う。 ○各種コンクールへの積極的な参加を促す。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○固定施設を使った運動に、意欲的に取り組ませるための指導。 ○苦手な運動に対して最後まで挑戦しようとする意識を高める指導。 ○投げる、捕るなどの技能を高めるための指導。 ○運動の習熟度に応じ、個々の体力向上を意識した指導。 ○運動を通して規範意識の高めるための指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲームや様々な動きをする中で、ぶら下がることや、上ること、体を支えることに慣れていくことで抵抗がなくなるような活動を取り入れる。 ○児童一人一人の運動の様子を見取り、励ましていく。また、一人一人のめあてに応じた活動を考え、させていく。 ○ドッジボールなどゲームを通してボール運動に親しむようにする。 ○運動量を多くし、体づくり運動や走る運動に重点をおく。また、年間を通して取り組むことで体幹を鍛えさせる。 ○目標をもって運動ができるよう学習カードを工夫する。振り返りも大切にする。 ○色々なゲームを経験させルールを守って運動する楽しさを感じさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○固定施設の安全な使い方やルールを丁寧に指導し、休み時間にも自主的に取り組めるようにする。 ○日常的に取り組める運動や動きを示し、運動に親しめるようにしていく。 ○体育集会、マラソン週間と関連させて、「なわとびカード」や「マラソンカード」を活用し、自分の体力に関心をもたせる。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつなどの基本的な生活習慣を身につける指導。 ○社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断できる指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「考える」発問を精選・工夫する。 ○資料提示の仕方を工夫する。 ○話し合い活動、役割演技、動作化等を取り入れ、登場人物の気持ちをより深く考えられるようにする。 ○毎時間、振り返りを行うとともに、学習で使ったワークシートをファイリングしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○役割演技やペープサート、吹き出し、ワークシートの活用など、多様な学習の仕方を工夫していく。 ○友達と意見交流する時間を設定する。 ○児童の振り返りやファイリングしたワークシートを評価・授業改善に生かす。

【第2学年】

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	発展的・補足的な指導計画
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○物語などの内容を正しく読み取り理解させるための指導 ○声の大きさや話す速さに気を付け、事柄の順序を考えながら話をする指導 ○画数の多い漢字、形の似ている漢字を習熟させるための指導 ○順序を整理し、簡単な構成を考えて文章を書き、表現する力を付ける指導 ○大事なことを落とさないように聞く指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアでの丸読み、班での丸読み、群読等を取り入れ、音読の指導を徹底する。 ○順序を表す言葉を意識させ、定着を図る。 ○「声の大きさ表」を活用する。 ○互いの音読を聞き合う場面を設定する。 ○新出漢字は、書き順や読みを一字一字丁寧に確認する。漢字の成り立ちも指導することで苦手な児童も関心をもてるようにする。 ○順序を表す言葉を使いながら、メモから文章を組み立てていく。誰でもわかりやすいように文の型が書かれたワークシートを活用する。 ○発言者に感想や質問を伝える時間を設け、聞く姿勢やポイントを理解させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○正しい読みができる練習として、指示語が指す言葉探し等の問題に取り組みさせる。 ○楽しんで読書をするために、読み聞かせを定期的に行う。 ○音読の宿題は、毎日行わせる。 ○教科書教材は内容や文章のまとめり、声の大きさや速さに気を付けさせ、読ませる。 ○毎日漢字学習・練習を取り入れる。 ○学級内スピーチでは、順序を表す言葉を活用していく。 ○学級内スピーチで、聞き手が感想や質問を伝えることで、学びを深める。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○苦手とする児童が多い単元「長さ」、「時間と時刻」の指導 ○文章題の問題文を正しく読み取り理解して、立式する力を付けるための指導 ○かけざん九九の定着の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○苦手単元では、声に出して言う、具体的な操作や計算方法を繰り返し行わせる、少人数指導を生かしながら、確認のテストをするようにする。また、具体物や数カードを活用し指導を行う。 ○問題を解く場面では、「求めたいこと」「分かっていること」を整理し、黒板に色分けなどをして示すようにする。児童も教科書等の問題文にラインを引く習慣を付ける。 ○簡単な図や計算、言葉を用いて、自分の考えをわかりやすくまとめ、互いに発表し合う機会を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活体験の中で、時計や長さを意識させて指導を行う。 ○十二小タイムや家庭学習を活用してかけ算九九の定着や基礎的な四則演算の定着を図る。 ○九九テストを実施し、個人個人の定着状況を細やかに確認していく。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの人々や動植物に興味・関心を持たせ意欲を高める指導 ○観察カードの絵や文章のかき方を身に付けさせるための指導及び個別の支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜や植物の栽培を通して、育てる喜びを味わったり、季節ごとに変化する生き物や植物に興味をもったりできるよう指導計画を立てる。身近な自然を観察・飼育し、気づいたことや不思議に思ったことをカードにまとめる。 ○町たんけんを通して、身近な人々や自然とかわり、言葉や絵などを通して気がついたことを表現させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○気づきや楽しかったことを表現したワークシート・模造紙などは教室内に掲示し、互いに見合えるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○「もっと知りたい。」「もっと観察したい。」という意欲を喚起する指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観察カードを紹介することで、「自分もやってみよう。」という意欲を高める。 	

音楽	<p>○歌が好きで、楽しく歌えるよさを生かしつつ、美しい声で歌うことを身に付ける指導</p> <p>○鍵盤ハーモニカに慣れ、リズムに乗って演奏できる力を、さらにステップアップさせ、楽しく演奏するための指導</p> <p>○基礎的な表現の能力を高めるための指導</p>	<p>○適切な範唱用CDなどにより、やわらかい声の出し方に関心をもたせる。</p> <p>○個人の課題に合った指導のほか、児童同士の教え合いの場を作り、鍵盤ハーモニカの楽しく演奏させる。</p> <p>○常時活動でリズム遊び・発声練習・音遊びを取り入れ、楽しみながら基礎的な能力を高める。</p>	<p>○音符や休符の名前を覚え、簡単なリズム打ちや階名唱をできるようにする。</p> <p>○様々な鍵盤楽器や打楽器に触れ、名前を覚え、奏法を習得する。</p> <p>○主体的・対話的授業の中で、児童同士で試行錯誤しながら技能を高めたり、表現力を付けたりする。</p>
図工	<p>○絵を描いたり工作をしたりする活動への意欲を高め、個々に応じた絵画表現の力を付ける指導</p> <p>○切る・折る・貼る・描くなど、技能面の指導及び個別の支援</p> <p>○自らの表現に対して自信をもつことができないう児童への指導</p>	<p>○児童の作品を適切な場面で紹介し、表現のよさを感じ、高め合うようにする。</p> <p>○切る・貼る・折るなどの基本動作が確実に身につくように繰り返し指導する。</p> <p>○言葉かけによって自信を付け、参考例を示して表現の選択肢をひろげる指導を行う。</p>	<p>○より高い技能を知るため、具体物や作品例を提示するようにする。</p> <p>○互いのよさを認め合えるような鑑賞の場を設けたり、掲示の仕方を工夫したりする。</p> <p>○多角的に作品をとらえ、様々な感じ方があることを示す。</p>
体育	<p>○一人一人が友達とかわり合いながら友達と運動を楽しむための指導</p> <p>○勝敗を素直に受け入れる指導</p> <p>○様々な運動遊びを通して、様々な動きを身に付け、体力を向上させる指導</p>	<p>○一時間の授業の中で、意図的に友達と体を動かす活動を取り入れ、関わりを楽しめるようにする。</p> <p>○学習カードを用いて学習の終わりに振り返りをし、よさを認め合ったり、励まし合ったりする。</p> <p>○多様な動きを取り入れ、経験させることによって、基礎感覚を身に付ける。</p>	<p>○準備運動後に、体づくり運動（体ほぐし運動やバランス等）を取り入れていく。</p> <p>○休み時間の外遊びを進める。また、鬼遊び、ボール投げなど、多様な動きを取り入れた遊びを行う。</p> <p>○授業の中に、コーディネーショントレーニングを取り入れる。</p>
道徳	<p>○あいさつなどの基本的な生活習慣を身につけるための指導</p> <p>○社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断できるための指導</p>	<p>○教材の世界に入りこめるよう教材提示の工夫を工夫する。</p> <p>○ねらいに的確にせまるための発問を工夫する。</p> <p>○話し合い活動、役割演技、動作化等を取り入れ、登場人物の気持ちをより深く考えられるようにする。</p> <p>○毎時間、振り返りを行うとともに、学習で使ったワークシートをファイリングしていく。</p>	<p>○紙しばい、パネルシアター、ペープサート、書画カメラ等で教材を提示する。</p> <p>○話し合い活動、役割演技、ワークシートの活用など、多様な学習の工夫をしていく。</p> <p>○児童の振り返りやファイリングしたワークシートを評価・授業改善に生かす。</p>

小平市立小平第十二小学校 授業改善推進プラン

【第3学年】

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	発展的・補足的な指導計画
--	---------	-----------	--------------

<p>国語</p>	<p>○読解力、表現力を身に付けるための指導</p> <p>○伝えたいことをわかりやすく書く力を付けるための指導</p> <p>○新出漢字の定着を図るための指導</p> <p>○要点をとらえて話す力と聞く力を付け活用させるための指導</p> <p>○語彙を増やすための指導</p>	<p>○読む活動では、必要に応じてサイドラインを引くよう指導する。また、図書の間や読書時間を使って、十二小推薦図書を読むよう声かけをし、自ら読み取る力を付けさせる。</p> <p>○文章を書く作業を多くするとともに、最後まで確実に取り組ませる。感情を表す言葉や様子を表す言葉の使い方を学ばせ、文章の中で使えるようにさせる。</p> <p>○意味のあるまとまり（段落）で文章が書けるようにする。</p> <p>○漢字は繰り返し書いて習得させる。</p> <p>○話す活動を多く取り入れる。聞いている人を意識させ、具体的な話ができるように助言する。また、音読を継続的に取り入れ、大きな声で教材文を読む時間を確保する。</p> <p>○辞書での熟語探しや、語句の意味調べなど、辞書に触れる機会を増やす。</p>	<p>○授業だけでなく様々な場面や家庭学習を活用して、言葉や文で表現させる機会を増やし、個に応じた言語指導や作文指導をする。</p> <p>○授業のまとめや行事の感想など様々な場面で書く時間を確保する。</p> <p>○作文の宿題を計画的に出し、個に応じた指導をする。</p> <p>○漢字の成り立ち、熟語、短文作り等の継続的な指導を行う。ドリルを活用した家庭学習を毎日行う。</p> <p>○音読カードを活用した音読の宿題を毎日習慣づける。</p> <p>○家庭にも漢字の小テストの結果を見てもらうようにし、家庭と協力して漢字学習に取り組めるようにする。</p>
<p>社会</p>	<p>○一人一人が興味や関心をもって取り組める指導</p> <p>○知識や技能（地図の見方や資料の読み取りなど）を獲得させるための指導</p> <p>○学習のねらいをはっきりさせ、身に付ける力を明確にした指導</p>	<p>○児童が学習内容を身近に感じるよう生活に関連する具体物等を用いて指導の工夫をする。</p> <p>○写真や地図等の視覚的教材を活用し、イメージを膨らませて学習に励むよう工夫する。</p> <p>○活動する前に、目標を明確に提示することで、自ら学ぼうとする意欲を高める。</p> <p>○地域での体験的な活動や見学を積極的に行い、学べるよう工夫する。</p>	<p>○具体的な資料（地図や写真）を活用する機会を増やす。</p> <p>○地図記号をカードとして教室に常備し、授業の導入等で継続的に活用し習得を図る。</p> <p>○校外でも自ら進んで学ぼうとする意欲をもてるよう指導する。</p> <p>○学習したことを新聞等で表現する力を付けさせる。</p>
<p>算数</p>	<p>○わり算の計算方法を定着させるための指導</p> <p>○「時間」の概念や時間の和を求める問題を理解させる</p> <p>○円と球についての理解やコンパスで円を正確に書くための指導及び支援</p> <p>○学習内容を確実に定着させるための個別指導</p>	<p>○授業ではスキルノートやプリントを活用し、繰り返し学習させることにより、計算力の定着、向上に努める。</p> <p>○時計や球の模型などの具体物を用いることにより、児童にとってわかりやすい授業に努める。</p> <p>○問題を解く場面では、「求めたいこと」「分かっていること」を整理し、黒板に色分けなどをして示すようにする。</p> <p>○習熟度別学習を生かし、個に応じた指導を行う。また、簡単な図や計算、言葉を用いて、自分の考えをわかりやすくまとめ、互いに発表し合う機会を多く設ける</p>	<p>○毎日の家庭学習にスキルノートを活用し、学習している単元の復習・定着を早期に図るようにする。</p> <p>○視覚的教材を活用し、分かりやすい授業を行うとともに、反復練習させ基礎の定着に努める。</p> <p>○授業の5分間に百マス計算や九九の確認などを行い、基礎的な四則演算の定着を図る。</p>
<p>理科</p>	<p>○課題を身近に感じさせ、興味・関心をもって取り組ませるための指導</p> <p>○観察したことから考える「考察力」を身に付けさせるための指導</p>	<p>○どの児童も共通してもっている生活体験から個々が興味をもって取り組めるような導入・展開の工夫を行う。</p> <p>○観察の視点を事前にしっかりと押さえ、実物をしっかり見た上での気づきを全体に広げたり、観察対象を正確に見て描いている児童の絵を取り上げたりして、何をどのように書けばいいのか観察の基礎を身に付けさせる。また、「これからどうなるのか」「なぜそうなったのか」を問いかけ、考える視点を与える。</p> <p>○アゲハやモンシロチョウの観察を通して、昆虫の成長を学ぶ。</p>	<p>○日常生活に関連していることを押さえ、授業だけで学習が終わらないように発展的な学習につなげる。また、育てた昆虫は休み時間や登下校時にも見るよう声掛けを行う。</p> <p>○関連した視聴覚教材を取り上げる機会を多くつくり、同じところや違うところに気づき、知識を深めるとともに、自分で調べてみたいという気持ちを育てる。</p>

<p>音楽</p>	<p>○自分や周りの声をよく聴きながら、美しい声で歌うことを身に付ける指導 ○リコーダー学習では、意欲的に活動する良さを生かし、自分の音を聴きながら学習を進める力を付ける指導 ○自信をもって歌えるようにする指導</p>	<p>○口のあけ方や声の出し方など発声の仕方を、無理なく楽しんで学べる指導を充実させる。 ○グループやペアを組んで、お互いに聴き合いながら演奏する活動を取り入れる。リコーダーは、個人指導を多く取り入れ、基礎を定着させる。 ○歌う楽しさを高めるためにリクエストコーナーをもうけ、好きな歌が増えるようにする。</p>	<p>○児童が主体的に学び、技能に合わせて練習ができるようにするため、難易度に幅をもたせた教材を開発する。 ○階名や休符、音符の名前を覚えるためにカードや学習プリントを取り入れて、楽譜を読むことに興味をもたせる。 ○パートナーソングや輪唱など、まずはみんなで楽しむ歌を歌いながら声をそろえて歌う楽しさに気付かせる。</p>
<p>図工</p>	<p>○意欲的に、自由な表現をし、粘り強く最後まで活動させるための指導 ○課題を捉えて、表現させるための指導及び個別の支援 ○表すものが同じに固定されてしまう児童への指導</p>	<p>○児童のイメージが広がりやすくなるような声かけや、作品例を提示する。 ○一人一人に作品のよさや課題を話し、意欲を高めていくようにする。 ○制作時間のかかる作品については、使用用具や描画材料の提示を工夫し、意欲が持続するようにする。 ○造形遊びで経験値を増やしたり、あえて固定概念を覆すような課題を与えたりする。</p>	<p>○より高い技術を得るため、作品例や友だちの作品を提示する。 ○作品を掲示することにより、鑑賞の場を設ける。 ○個別学習が必要な児童は、授業以外の時間を活用する。 ○友達作品を鑑賞する際、見て欲しいポイントを伝え、様々なもの見方ができるように工夫していく。</p>
<p>体育</p>	<p>○一人一人の安全と適切な運動量を確保した指導 ○運動内容に合った「めあて」を意識して、話し合いをもとに協力しながら学習していく力を身に付けさせる指導</p>	<p>○笛の合図の指示を理解し、集団行動のルールを徹底できるようにする。 ○毎時間のめあてを確認し、課題をもって取り組ませる。また、授業の終末では本時の振り返りを取り入れる。動きのポイントを明確にする。 ○指示や発問を簡潔でわかりやすい言葉で伝え、個々の課題解決や友だち同士の声かけの視点に生かし、かわり合いを活性化させるようにする。 ○グループで取り組む活動では、チームタイムを設け、活発な話し合いをさせる。その際、話し合う視点について伝える。</p>	<p>○能力別に支援したり、課題別に組み立てる場を用意したりして個々の力に応じて取り組めるようにする。 ○動きが段階的になるように、スモールステップでレベルを上げていく。 ○児童同士で学び合う場を取り入れ、能力が違っても、それぞれの立場で満足感が味わえるようにする。</p>
<p>道徳</p>	<p>○集団や社会のきまりを守り、身近な人々と協力し、助け合う態度を身に付ける指導</p>	<p>○ねらいに的確にせまるための発問を工夫する。 ○児童が自分を振り返る時間や、交流し合う時間を確保する。 ○児童が安心感をもって意見を発表できる雰囲気を整えていく。</p>	<p>○授業で使ったワークシートなどは、フェイリングして振り返ることができるようにしていく。 ○朝の会や帰りの会で、自分の行動や周りの人にしてもらったことなどを振り返る機会を確保していく。</p>

小平市立小平第十二小学校 授業改善推進プラン

【第4学年】

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	発展的・補足的な指導計画
国語	<p>○読解力、表現力を高める指導</p> <p>○「書く」ための基礎・基本となる力を身に付けさせる指導</p> <p>○漢字や言葉の学習では、言葉の仕組みや活用方法を取り上げ、辞書を使ったりして言葉に対して慣れ親しませる指導</p> <p>○話題に沿った話す力と、その内容を理解しようとする聞く力を身に付ける指導</p>	<p>○国語への意欲を高めるための手立てをする。考えさせる時間を確保し、達成感などを味わえるようにする。</p> <p>○「書く」とときには、言いたいことを明確化し、文の組み立て、構成など基本的なことを毎回指導していく。「指示語」の役割を理解し、文の組み立て方や構成も意識しながら、話題に沿った内容で書く力を育てる。</p> <p>○ドリルや教科書を活用し、日常的に言葉のしくみや学習に触れていく。</p> <p>○漢字の10問小テストを定期的に行う。</p> <p>○新しい単元ごとに、わからない語句を中心に、国語辞典を使って意味を調べることで、語彙力を付けていく。</p> <p>○発言や話し合い活動をする際に、ただ自分の意見を言うだけでなく、その根拠や理由も添えて話す力をつける。また、聞く際にも相手が伝えたいことの原因を考えながら聞き、それに対する質問する力を付ける。</p>	<p>○読書マラソン、図書の時間を活用して、幅広いジャンルの読書の定着を図る。</p> <p>○家庭学習では、授業と連携するため、継続的に音読に取り組み、日常の授業との関連性を図る。授業では、様々な方法で一人一人の音読の力を高める。</p> <p>○自分の言葉で表現する楽しさを感じながら、自分の思いや考えが相手に伝わるように書く力を高めていく。</p> <p>○文の内容を、自分の言葉でまとめる練習を繰り返し行うことで、要点をおさえたい要約が書けるようにする。はじめは穴埋めや、考える視点を示しながら行っていく。</p> <p>○家庭学習で、継続的に漢字練習を徹底して練習する。わからない言葉は国語辞典で調べる。</p> <p>○話し合いでは、聞くだけでなく質問をしたり、評価をしたりして、互いの良さを引き出し合いながら高めていく。</p>

<p>社会</p>	<p>○課題を明確にし、指導内容と児童の日常生活との関連付けた指導</p> <p>○表やグラフなどの資料を正しく読み取り、読み取ったことを活用して考えたりまとめたりする力を付ける指導</p> <p>○興味・関心を高め、意欲の向上を図るための指導</p>	<p>○課題やねらいをより明確にし、学んだことを、身近な生活と結び付けられるよう指導していく。</p> <p>○各単元で表やグラフ、資料の読み取りの時間を1時間確保する。その後のまとめで必ず活用させるように指導する。</p> <p>○ゲストティーチャーを迎えたり、見学に行ったりして主体的に学べるようにする。</p> <p>○学んだことを新聞にまとめる。</p> <p>○年間を通して地図帳を活用して、地図に親しみ、都道府県を覚える。</p>	<p>○新聞やニュース、身近な問題を取り上げ、社会科の内容とつなげたりするなど興味関心を高めていく。</p> <p>○自分が調べたい課題に対して、本やインターネットを活用して調べることで問題解決の力を高めていく。</p> <p>○見学後のまとめ学習を充実させる。</p>
<p>算数</p>	<p>○かけ算やわり算などの計算力や文章題を解く力を伸ばすための指導及び個別の支援</p> <p>○表やグラフで表すための基礎的な理解を図る指導</p> <p>○分度器や三角定規などの読み取りや操作の仕方を身に付けるための指導及び個別の支援</p> <p>○児童の理解度の差に応じた指導(全単元)</p> <p>○計算の仕方や答えの求め方を、自分の言葉で説明する力を付けるための指導</p>	<p>○ドリルやプリントを活用し、計算問題の反復練習を行う。文章題についてはポイントとなる言葉や数にアンダーラインなどをひかせ、何を問われているかを明確にする。</p> <p>○児童の生活と関連させながら、表やグラフに表す作業を繰り返し行い、基礎的な理解や技能の習熟を図る。</p> <p>○分度器や三角定規などの道具を使う学習活動を多く取り入れ、使い方の習熟を図る。個別指導が必要な児童は、授業以外の時間を活用する。</p> <p>○文章問題を解く場面では、「分かっていること」「求めたいこと」を整理し、黒板に色分けなどをして示すようにする。</p> <p>○線分図や式、言葉を用いて自分の考えを簡潔にまとめ、それを発表し合う活動を多く取り入れる。</p>	<p>○時間内に教科書問題が終わった児童には、発展的な学習内容のプリントに取り組みさせる。</p> <p>○既習の学習内容が定着していない児童には、個別の課題に取り組みさせる。</p> <p>○実物投影機を使うなどして、視覚的にわかりやすい授業を行うとともに、学習コンテンツを利用し反復練習させ基礎の定着に努める。</p> <p>○十二小タイムや家庭学習を活用してかけ算九九の定着や基礎的な四則演算の定着を図る。</p>
<p>理科</p>	<p>○理科への関心を高め、進んで実験に取り組むよさを生かし、課題と実験結果を関連付け、自分の言葉でまとめることを身に付けさせる指導</p> <p>○生活経験をもとに予想し、自分の考えを積極的に発言する力を身に付ける指導</p>	<p>○実験結果や考察などをペアやグループ、全体等で話し合い、内容を共有していく。また、実験の結果を、自分で表やグラフに表していく。</p> <p>○積極的に発言できる児童を認めつつ、少数意見でも自分の考えをもてる児童を認め、予想が結果と違うことは間違いではないということや、多様な考えが出ることの大切さを学習活動の中で伝えていく。</p> <p>○単元のまとめでは、ワークシートなどを活用しテスト形式(問題文)に慣れ、知識を正しい言葉で表現できるよう復習していく。</p>	<p>○身近な事象(生活経験・新聞記事・ニュースなど)を取り入れながら、学習と結びつけていく。</p> <p>○デジタルコンテンツなどのICT機器を活用し、知識を深めたり、広げたりできるようにする。</p> <p>○身に付けた用語を活用しながら、自分の考えを話したり、文で書いたり、ICT機器を活用して発表したりする。</p>
<p>音楽</p>	<p>○やわらかく響きのある声で歌うことを身に付ける指導</p> <p>○楽器を使う活動では、とても生き生きと取り組めるよさを生かし、バランスを感じながら合奏するための指導</p> <p>○互いの音を聴いて歌ったり演奏したりする力を付ける指導</p>	<p>○自然な発声で歌えるように、口のあけ方や声の出し方を中心に、毎時間、導入で取り入れる。</p> <p>○音と音の重なる美しい響きを感じるために、部分二部合唱に挑戦する。</p> <p>○歌唱、器楽共に、よく耳で自分の声や周りの声や伴奏の音を聴きながら、歌ったり演奏したりする。</p> <p>○様々なジャンルの音楽に親しませたくさんの楽器や曲に触れる機会を設ける。</p> <p>○グループ学習を取り入れ、友達と音を合わせる楽しさに気付かせる。</p>	<p>○ペアやグループを組んで、友だちの前で歌ったり、演奏したりすることが自然にできる習慣を身に付ける。</p> <p>○リコーダーの学習で、遅れをとっている児童に対しては、課題別にスモールステップで指導をしていく。</p> <p>○グループごとに発表する機会を増やし、録音したものを聴き、客観的に自分たちの演奏を聴いたり、友達の演奏を聴いたりして、主体的に思いや意図をもって演奏できるようにする。</p>

図工	<p>○絵や工作の表現に進んで楽しくでき、互いのよさを自分の作品に取り入れながら活動できるよさを生かし、発達段階に応じた表現力を身に付けさせる指導</p> <p>○集中して取り組めない児童への個別の指導</p> <p>○表したいことのイメージが浮かばない児童に対する指導</p>	<p>○材料から場所を考えたり、活動する場所にある材料を工夫したりするなど、児童が色々試みの中で発想が広がるように指導する。</p> <p>○一人一人に作品のよさや課題を話し、意欲を高めていくようにする。</p> <p>○技能は定着するまで繰り返し指導していく。</p> <p>○造形遊びで道具や材料、行為などからイメージを広げて活動できる時間を設ける。</p>	<p>○作品を掲示することにより、鑑賞の場を設ける。</p> <p>○個別学習が必要な児童は、授業以外の時間を活用する。</p> <p>○自信のなさや失敗に対する恐怖心をなくし、つくることの楽しさを感じることもできる活動を行う。</p>
体育	<p>○領域ごとに、学習のめあてが明確な指導</p> <p>○苦手意識のある児童も意欲をもって取り組める指導</p> <p>○友達同士での言葉かけや励まし、教え合いなどが十分に行える指導</p> <p>○各領域において、児童自らが思考・判断しながら学習を進められる指導</p>	<p>○掲示物や学習カードを工夫し、一人一人がめあてを持った学習ができる環境を整えていく。(毎時間振り返りをさせる。)</p> <p>○一人一人の実態を把握し、つまずきがどこなのかを明確にし、それに対応した手立てをとる。</p> <p>○友達への言葉掛け例を作成しておき、いつでも児童が活用できるように掲示物等で示しておく。また、教え合い活動ができるように、教師側から技能のポイントを明確にしておく。</p> <p>○学習カードや児童間の教え合い等において、よりよい活動ができるための良い方法考えさせる。そのために、学習カードでのよいコメントなどを紹介したり、よい言葉かけをした児童を褒めたりするなど、具体的な例を挙げて個々の活動に生かす。</p>	<p>○常に学習のめあてを意識させ、スモールステップの達成感を味わわせる。</p> <p>○友達と協力する楽しさや運動ができるようになる楽しさを味わうことができるように、指導方法を常に考えていく。</p> <p>○休み時間にもその領域の遊びを取り入れ、運動を日常化させていく。</p> <p>○各学期の運動旬間と連動させて積極的に取り組めるように声掛け、指導する。</p>
道徳	<p>○集団や社会のきまりを守り、身近な人々と協力し、助け合う活動を通して道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導</p>	<p>○ねらいに的確にせまるための発問を工夫する。</p> <p>○児童が自分を振り返る時間や、交流し合う時間を確保する。</p> <p>○書く時間は、主発問に対して自分の考えをもつ時と自分の生活に引きつけて考えるときの2回に決めて授業を行う。学習の流れを決めることで児童に安心感をもって意見を発表できる雰囲気を整えていく。</p>	<p>○授業で使ったワークシートを道徳ノートとしてファイリングし、評価・改善していく。</p> <p>教室に掲示し、振り返ることができるようにしていく。</p> <p>○朝の会や帰りの会で、自分の行動や周りの人にしてもらったことなどを振り返る機会を確保していく。</p>

小平市立小平第十二小学校 授業改善推進プラン

【第5学年】

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	発展的・補足的な指導計画
--	---------	-----------	--------------

<p>国語</p>	<p>○めあてとまとめを明確にすることにより、児童が意欲的、主体的に取り組み、達成感がもてる指導</p> <p>○「読む」ための基礎・基本となる力を身に付ける指導</p> <p>○漢字や言葉の学習では、言葉のしくみや活用方法を取り上げたり、辞書を使ったりして言葉に対して慣れ親しませる指導</p> <p>○姿勢や口形に気を付け、大きくはっきりした声で音読できる力をさらに伸ばす指導</p>	<p>○考える時間と意見交流の時間を確保し、児童が達成感を味わえるようにする。</p> <p>○教科書やプリント教材から、指示語や段落相互の関係に着目させ、筆者の意図を読み取らせる指導を徹底する。</p> <p>○ドリルや教科書を活用し、日常的に言葉のしくみや意味を理解する学習を行う。</p> <p>○姿勢や口形を意識させながら授業や他の時間に音読を充実させ、人前でも大きな声ではっきりと言えるよう自信に繋げ、授業内の発表時には大きな声ではっきりと言えるようにする。</p>	<p>○定期的に俳句を作らせ、語彙を増やし言語感覚を養う指導を行う。</p> <p>○図書時間を活用し、十二小推薦図書を活用した読書活動を通して読みの力を向上させる指導を行う。</p> <p>○家庭学習において、毎日の漢字学習を徹底させ、ミニテストを行うなどして定着を図る。</p> <p>○スピーチ活動では、授業以外でも事前にスピーチ内容を整理させ、理由を明確にししながら順序立てて発表するようにする。</p> <p>○音読カードを活用し、日常的に言語に関心をもたせる。</p>
<p>社会</p>	<p>○めあてとまとめを明確にすることにより、児童が社会的事象に対し関心をもち、主体的に取り組める指導</p> <p>○課題を明確にし、指導内容と児童の生活との関連付けた指導</p> <p>○表やグラフなどの資料を正しく読み取り、読み取ったことを活用して考えたまとめたりする力を付ける指導</p>	<p>○ICTを活用し、表や資料などを提示し、視覚的にわかりやすくすることで、意欲を高める。</p> <p>○課題やねらいをより具体化し、正しい知識を身に付けるとともに、産業等と児童の生活と結び付けられるよう指導していく。</p> <p>○単元や授業内容によって、ワークシートや拡大図などを作成し、算数科と関連づけて表やグラフ、資料の読み取りを徹底させる。</p>	<p>○新聞やニュース、身近な問題を取り上げ、考えたり社会科の内容とつなげたりするなど、興味・関心を高めていく。</p> <p>○社会科見学に行った後の振り返りやまとめの学習を充実させ、学んだことを価値付ける。</p>
<p>算数</p>	<p>○四則演算の中でも、特に桁数の多い数同士のかけ算、わり算の指導</p> <p>○線分図や式、長い文章問題について、読みとらせたり、立式させたりするための指導</p>	<p>○文章問題を解く場面では、「求めたいこと」「分かっていること」を整理し、黒板に色分けなどをして示すようにする。</p> <p>○課題解決型の授業を行い、児童に見通しを持たせ自力解決し、発表させることにより、思考力と表現力を育てる。特に線分図や式、言葉を用いて自分の考えを簡潔にまとめ、それを発表し合う活動を多く取り入れる。</p> <p>○授業や十二小タイムでドリルやプリントを活用し、基礎的な四則演算や小数点の移動に繰り返し取り組ませる。</p> <p>○文章題についてはポイントとなる言葉や数にアンダーラインなどを引かせ、何を問われているかを明確にする。</p> <p>○線分図や式、言葉を用いて自分の考えを簡潔にまとめ、それを発表し合う活動を多く取り入れる。また様々な考え方の中でどれが簡単で正確かを常に意識させ、よりよい考え方を見出そうとする態度を養う。</p>	<p>○時間内に教科書問題が終わった児童には、発展的な学習内容のプリントに取り組ませる。</p> <p>○十二小タイムや家庭学習を活用して基礎的な四則演算の定着を継続的に図る。</p>

理科	<p>○自然事象についての要因や規則性を推論し、自分なりの見方や考え方も足せる指導</p> <p>○学年相応の実験を行う技術を持ち、すすんでたしかめようとする力を育てる指導</p>	<p>○補充プリントやワークシートを工夫したまとめの活動を行う。</p> <p>○全ての児童が探求心をかきたてることのできるような導入を工夫し、予想を立てる時間を確保する。</p> <p>○既存の知識を予想としてあげるのではなく、その予想に結びつく根拠（事象）もあげるようにする。また、実験の条件を踏まえた細かい予想を立てさせるなど、先行して学習している児童にも、考える場面を多くもたせるようにする。</p>	<p>○児童が考えた発展的な学習や実験に対応できるような教材・教具の準備をしておく。</p> <p>○学校で児童ができないような実験は、デジタルコンテンツや、教材提示機を活用し、知識を広げたり関心を深めたり出来るようにする。</p>
音楽	<p>○歌うことが比較的好きな児童が多いので、音を合わせることの楽しさを実感し、歌唱をさらに楽しませる指導</p> <p>○リコーダー学習では、個々の差が大きくならないよう楽しみながら技術の習得できる指導</p> <p>○互いの音を聴いて音を合わせながら演奏をすることが楽しめるようにする指導</p>	<p>○表現力を高めるために、基礎である発声練習の充実を目指し、さらに、歌唱の幅を広げていく。</p> <p>○部分3部合唱を通して、ハーモニーの美しさを感じ取らせる。</p> <p>○様々なジャンルの音楽に触れ、日本の伝統的な音楽や世界の音楽にも目を向けさせる。</p> <p>○児童の好きな曲を取り入れ、興味を引きつけながら技能の習得を目指し、パートごとに発表する機会を大切にし、クラス全体でよく音を聴く機会を増やす。</p>	<p>○ペアやグループで歌ったり演奏したりする活動を取り入れる。人前で歌うことに慣れさせ、発表する喜びを感じ取らせる。</p> <p>○グループで音を合わせたり、どのようにすればよりよい音楽になるかを考えさせたりする。</p> <p>○グループリーダーをつくり、主体的にアンサンブルに取り組めるようにする。</p>
図工	<p>○どの児童も意欲をもって表現活動が楽しめる指導</p> <p>○用具の総復習や計画性を求める題材が増えるので、自分の力で学習を進めていく力を育てる指導</p> <p>○自分の表現に自信をもつことができず、なかなか取り組むことができない児童への指導</p>	<p>○一人一人に作品のよさや課題を話し、意欲を高めていくようにする。</p> <p>○児童のイメージが広がるようにアイデアを紹介しあったり、作例を提示したりする。</p> <p>○造形活動の過程で児童が材料や場所にどのように働きかけ、技能を発揮しているのかを把握し、適切に指導する。</p> <p>○製作過程を明示したり、参考例を示したりすることで、自信をもって取り組めるようにする。</p>	<p>○より高い技術をえるため作品例や友だちの作品を提示する。</p> <p>○コンクールへの積極的参加をする。</p> <p>○作品を掲示することにより、鑑賞の場を設け次の題材の意欲につなげていく。</p> <p>○個別学習が必要な児童は、授業以外の時間を活用する。</p> <p>○作品の鑑賞を通して様々な感じ方があることの楽しさや、互いの良さを発見できるように工夫する。</p>
家庭	<p>○学習したことを自分の生活に生かすための指導</p> <p>○家庭生活に生かすことの目的意識を高める指導</p>	<p>○学習したことを家庭で実践できるよう、家庭学習での取り組みを促している。</p> <p>○実生活を振り返らせ、学んだことをどのように生かしていきたいのかを、ワークシート等を用いて、明確に記す。</p>	<p>○必要に応じ実習は保護者に呼びかけ、授業への協力を求めている。</p> <p>○家庭と連携し、児童が実生活の中で実践したことへの評価をコメントでもらう。</p>
体育	<p>○全児童がめあてをもって楽しく活動できるようにする指導</p> <p>○児童の自己評価、相互評価と教え合いをさらに活性化させる指導</p> <p>○運動の特性に応じた楽しさを一人一人に味わわせ、運動に対する興味関心をさらに高めていく指導</p>	<p>○単元毎に学習カードを活用し、時間毎の自分のめあてを明確にして活動させる。また、一人一人のめあてに合った場や用具の設定をする。</p> <p>○あらかじめ評価のポイントを具体的に示しておき、学習カードに記入させる。</p> <p>○誰もが活躍できる場をつくるよう教材を工夫する。また、個の伸びをその場で賞賛し、達成感を味わわせるようにする。</p>	<p>○期間を決めて持久走、なわとびなどに取り組み、目標を設定して日常的に運動できるようにする。</p> <p>○体育の学習を、休み時間に広げて運動できるよう声掛けをする。</p>

<p>道徳</p>	<p>○相手の立場を理解し、支え合う態度を身に付ける指導 ○社会の一員としての自覚をもち、集団における役割と責任を果たす指導</p>	<p>○ねらいの的確にせまるための発問を工夫する。 ○児童が自分のことをふりかえりやすい補足資料や事例を扱う。 ○自分たちの生活を振り返り、話し合い活動の充実を図る。</p>	<p>○道徳的な意義を実生活につなげていく意識を高めていく。 ○身近な事象（生活経験・新聞記事・ニュースなど）を取り入れながら学習と結びつけていく。 ○視聴覚教材を活用し、より視覚的にわかりやすい授業をおこなっていく。</p>
------------------	--	---	---

小平市立小平第十二小学校 授業改善推進プラン

【第6学年】

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	発展的・補足的な指導計画
<p>国語</p>	<p>○新出漢字や言語事項の定着を図るための指導</p> <p>○読み取り学習では、人物の心情を自分なりに考え、互いの意見を交換しながら自己の読みをさらに深める指導 ○自分の考えや感じたことを構成を考えながら書く力を育てる指導</p>	<p>○「言語事項」の定着を図るために、定期的新出漢字や言語事項の指導を行う。 ○読み、筆順、意味、成り立ち、熟語を押さえるよう、漢字ノートを工夫する。 ○漢字の小テストを定期的に行い、定着を図る。また、十二小タイムや家庭学習で定着を確かめる。</p> <p>○「読み取り」「書く」の定着を図るために、物語文や説明文の学習において、単元の中で児童の考えや感じたことをノート等に記入する時間を十分に確保する。 ○自分の意見を発表したり、他の人の意見を聞いて自分の考えをより深めたりする場面を多く設けるようにする。</p>	<p>○朝の時間を活用して、読書の定着を図る。 ○「十二小推薦図書」「読書旬間」「おすすめ本の紹介カード」を活用し、読書活動の充実を図る。 ○POP作成やキャッチコピーを考えるなどの活動を通して、必要な事柄やあらすじを端的かつ的確にまとめる力を身に付ける。</p> <p>○学級内スピーチを行い、評価し合う活動を取り入れ、「話す」活動の充実を図る。</p>

<p>社会</p>	<p>○教科書や資料集をもとに学習を進める場で、さらに考えを深めるための指導</p> <p>○資料の読み取りで、深い読みまで考察できるための指導</p> <p>○都道府県の位置などの既習の内容をもとに、歴史上の場所との関連を明確にしていける指導</p>	<p>○資料を精選し、1時間の授業の中で資料をじっくりと読み取る時間を設け、資料から歴史的背景を読み取れるようにするとともに、歴史に対する興味・関心を高める。</p> <p>○資料から読み取れる事実だけでなく、分かったことや自分の意見をノートにまとめさせ、考えを深めさせるようにする。</p> <p>○既習事項を確認し、歴史と関連付けさせて、基本となる知識を身に付けさせる。</p> <p>○地図帳を毎時間用意させ、その都度位置を確認していく。</p>	<p>○調べ学習では、インターネットを活用するなどして自主的に調べ学習が進められるよう取り組む。</p> <p>○社会科新聞を書いた際に、書いた内容を発表し合う時間を設け、児童相互で考えを深める。</p>
<p>算数</p>	<p>○算数的活動を通して、すすんで問題解決に取り組む力を育てる指導</p> <p>○四則演算が正確にでき、問題解決に用いることができる指導</p>	<p>○課題解決型の授業の中で、児童に見通しをもたせることで自力解決の力を育て、さらに発表させることにより、思考力と表現力を育てる。</p> <p>○授業や十二小タイムでドリルやプリントを活用し基礎的な計算問題の繰り返し学習を継続していく。</p> <p>○線分図や式、言葉を用いて自分の考えを簡潔にまとめ、それを発表し合う活動を多く取り入れる。また様々な考え方の中でどれが簡単で正確かを常に意識させ、よりよい考え方を見出そうとする態度を養う。</p> <p>○文章題を解くときには、その問題で分かっていること、求めたいものを整理して解くようにする。</p>	<p>○「確認ショートテスト」等を活用して、早期に学習している単元の復習・定着を図るようにする。</p> <p>○視覚教材を活用することにより、誰でも分かりやすい授業を行うとともに、学習コンテンツを利用し反復練習させ基礎の定着に努める。</p> <p>○十二小タイムや家庭学習を活用して基礎的な四則演算の定着を継続的に図る。</p> <p>○東京ベーシックドリルを家庭学習として設定し、思考力などの定着を図る。</p>
<p>理科</p>	<p>○自然事象についての要因や規則性を推論し、自分なりの見方や考え方をまとめる指導</p> <p>○学年相応の実験を行う技術を持ち、すすんでたしかめようとする力を育てる指導</p> <p>○実験結果から分かることを考察として書き示すことができるようにする指導</p>	<p>○補充プリントやワークシートを工夫したまとめの活動を行う。</p> <p>○全ての児童が興味や関心をもてるような導入を工夫し、一人一人が予想を立て学習に臨める時間を確保する。</p> <p>○既存の知識を予想としてあげるのではなく、その予想に結びつく根拠（事象）もあげるようにする。また、実験の条件を踏まえた細かい予想を立てさせるなど、先行して学習している児童にも、考える場面を多くもたせるようにする</p> <p>○考察の書き方の型を示し、それを基に書かせるようにする。</p>	<p>○児童が考えた発展的な学習や実験に対応できるような教材・教具の準備をしておく。</p> <p>○実験の場を多く設定し、個々の児童が体験できるよう工夫する。</p> <p>○学校で児童ができないような実験は、デジタルコンテンツや、教材提示機を活用し、知識を広げたり関心を深めたり出来るようにする。</p> <p>○徐々に慣れてきたところで、自分なりの書き方に移行させていく。</p>
<p>音楽</p>	<p>○互いに協力し合い、思いや意図を持って表現できる指導</p> <p>○音符、休符、記号等の用語の基礎を定着させ、読譜力及び視奏・視唱の能力を興味をもたせながら高めていく指導</p> <p>○楽曲を形づくっている要素を手がかりに、自分たちなりの表現について考え、それらを表現する技術が身に付く指導</p> <p>○曲想を生かした表現を工夫することができるようになる指導</p>	<p>○表現力を高めるために、基礎である発声練習の充実を目指し、さらに、歌唱の幅を広げていく。</p> <p>○部分3部合唱を通して、無理のない音域で歌いながらハーモニーの美しさを感じ取らせる。</p> <p>○様々なジャンルの音楽に触れ、日本の伝統的な音楽や世界の音楽にも目を向けさせる。</p> <p>○曲の構成、歌詞の内容に着目させ、作曲者の意図を考えさせる。</p>	<p>○ペアやグループでペアをつくり、歌ったり演奏したりする活動を取り入れる。人前で歌うことに慣れさせ、発表する喜びを感じ取らせる。</p> <p>○音楽の構成や音色など、曲の仕組みをより深く理解して、自分たちの合唱や合奏や音楽づくりにいかす。</p> <p>○連合音楽会や学芸会などで、思いや意図をもって表現する楽しさを味わわせる。</p>

<p>図工</p>	<p>○粘り強く制作に取り組むことで自分自身の個性を尊重し、表現を楽しめる指導。</p> <p>○鑑賞の授業を取り入れることで、他者との違いを認め、よさや美しさを感じ取らせる指導</p> <p>○発想の能力に技能が及ばず、表したいイメージに届かない児童への指導</p>	<p>○児童のイメージが広がるようにアイデアを紹介しあったり、作例を提示したりする。</p> <p>○実演したり、視聴覚機器を用いたりして、視覚的にとらえさせ、基礎的な知識や技能が身に付けられるように指導していく。</p> <p>○一人一人に作品のよさや課題を話し、意欲を高めていくようにする。</p> <p>○これまでに経験した材料や用具を掲示物や画像などから振り返る時間を設定し、既習事項を適切に取り入れられるよう指導する。</p>	<p>○より高い技術を得るため、作品例や友達作品を提示する。</p> <p>○コンクールへの積極的参加を促す。</p> <p>○作品を掲示することにより、鑑賞の場を設け次の題材の意欲につなげていく。</p> <p>○個別学習が必要な児童は、授業以外の時間を活用する。</p> <p>○各々の技能の能力に応じて発展的な活動ができるようにする。</p>
<p>家庭</p>	<p>○自分の生活をふり振り返り、学習したことを生かして家庭生活をより良くしようとする指導</p> <p>○家庭生活に生かすことの目的意識を高める指導</p>	<p>○家庭と連携し、実生活に結びつけて学習の意義をとらえさせる。</p> <p>○実際に見本を見せたり、写真や視聴覚機器の活用をしたりすることにより、より具体的に作業のイメージをもたせるようにする。</p> <p>○実生活を振り返らせ、学んだことをどのように生かしていきたいのかを、ワークシート等を用いて、明確に記す。</p>	<p>○実習は、保護者に積極的に呼びかけ、授業への協力を求めていく。</p> <p>○家庭と連携し、児童が実生活の中で実践したことへの評価をコメントでもらう。</p>
<p>体育</p>	<p>○いろいろな運動の楽しさや喜びを味わい、すすんで運動を行うことができる指導</p> <p>○児童一人一人が「できる」喜びを味わえる指導</p> <p>○健康で安全な生活を営む意識や理解をもたせる指導</p>	<p>○単元毎に学習カードを活用し、時間毎の自分のめあてを明確にして活動させる。また、一人一人のめあてに合った場や用具の設定をする。</p> <p>○あらかじめ評価のポイントを具体的に示しておき、学習カードに記入させる。</p> <p>○グループ活動を通して、児童相互の教え合い活動を積極的に設定する。</p> <p>○誰もが活躍できる場をつくるよう教材を工夫する。また、個の伸びをその場で賞賛し、達成感を味わわせるようにする。</p>	<p>○期間を決めて持久走、なわとびなどに取り組み、目標を設定して日常的に運動に取り組めるようにする。</p> <p>○体育の学習を、休み時間に広げて運動できるよう声掛けをする。</p> <p>○教え合い活動を充実させるために、動きのポイントやコツが分かるように資料提示をする。</p>
<p>道徳</p>	<p>○社会の一員としての自覚をもち、集団における役割と責任を果たす指導</p> <p>○自己の生き方についての考えを深められる指導</p>	<p>○ねらいの的確にせまるための発問を工夫する。</p> <p>○児童が自分のことをふりかえりやすい補足資料や事例を扱う。</p> <p>○自分たちの生活を振り返り、話し合い活動の充実を図る。</p> <p>○資料の登場人物の心情を考え、話し合う活動を積極的に行う。</p>	<p>○道徳的な意義を実生活につなげていく意識を高めていく。</p> <p>○身近な事象（生活経験・新聞記事・ニュースなど）を取り入れながら学習と結びつけていく。</p> <p>○視聴覚教材を活用し、より視覚的にわかりやすい授業をおこなっていく。</p>